

時間経過に伴う都市防災上の課題と対策

| 区 分 | 被害の拡大過程と防災活動 | 主な防災対策 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 1. 都市計画による誘導 | 2. 都市の骨格形成(広域) | 3. 安全生活圏の形成(地域) | その他 |
| 発 災 前 | <p style="text-align: center;">災害への備え → 災害時の危険性を最小化する</p> | <p>都市防災のマスタープランの策定 危険な市街地の明確化 適切な市街地密度の制御等</p> | <p>広域防災上重要な施設整備 の計画的推進</p> | <p>都市の情報の開示 (災害危険度の公表等) まちづくり協議会等の育成</p> | |
| 地 震 発 生 数 時 間 後 1 、 2 日 後 1 週 間 長 期 へ | | <p>都市基盤施設の都市計画</p> <p>防火地域指定等による 都市の不燃化促進</p> <p>迅速な制限、手続き、復興計 画の早期策定のための備え</p> | <p>避難や救助活動の拠点整備</p> <p>拠点病院へのアクセス確保</p> <p>交通網の多重化 構造物の耐震強化 道路啓開体制の確立 無電柱化 ライフラインの共同収容化の推進</p> <p>後方支援活動拠点の確保 危険箇所の耐震強化</p> <p>延焼遮断帯の整備 広域避難地、避難路の確保</p> <p>堤防・護岸の耐震強化 ポンプ施設等の耐震強化</p> <p>広域緊急交通路の確保</p> <p>都市内でのオープンスペ ースの確保 交通結節点での強化</p> | <p>閉塞しない区画道路の整備</p> <p>ヘリポートへのアクセス確保</p> <p>無電柱化 道路啓開体制の確立 一時避難地の確保と充実 ライフラインの共同収容化の推進</p> <p>緊急避難場所の確保 消防活動を支える道路整備 身近な水源の確保</p> <p>密集市街地等の防災性向上</p> <p>地域緊急交通路の確保</p> | <p>違法建築物取締りの確実な実施 建築物の耐震診断と補強 自主防災組織の育成・強化 救助用資器材の備え 災害時要援護者の支援体制整備 空輸体制(ヘリポート)の整備</p> <p>安否確認システムに登録 施設の耐震強化 被災箇所の早期把握 多重情報ネットワークの整備</p> <p>感震ブレーカー等の設置 消防水利の適正配置</p> <p>広域支援の活動拠点の確保</p> <p>収容避難所の確保</p> <p>復旧活動拠点の確保 資器材の置場等の確保 代替交通の確保</p> <p>仮設住宅用地の確保</p> |